

山鹿中学校便り 統合元年 新生山中 一致協働

令和元年10月11日(金) No.9

10月11日(金)6校時表彰と前期修了にあたっての話を行いました。とても集中して話を聞いてくれました。話の概要は、以下のとおりです。

本日、皆さんに前期の通知表を担当の先生から手渡してもらいました。4月から半年間、病気やけがをすることなく、目標を持って元気に過ごせたでしょうか。思い通りの成績だったでしょうか。前期の修了にあたって、残り半年で特に頑張ってもらいたいことをお話ししたいと思います。

まず、挨拶と返事について。皆さんが義務教育を受けるのは中学校までです。つまり、中学校を卒業すると教育を受けさせる義務は保護者にはありませんから、皆さんは社会人になるということです。今ではほとんどの人が高等学校等さらに勉強するために進学します。しかし、進学しないのであれば社会に出て働かなければなりません。どんな仕事でも、職場でも、必ず指導されるのが挨拶と返事です。これができないと誰かと一緒に働くことは難しいと思います。ですから、高等学校等に進学する人も今のうちに挨拶と返事をする習慣をしっかり身に付けてほしいのです。

次に、授業を受ける姿勢についてです。どの学級も落ち着いて授業に臨んでいると思いますが、時々、友達の勉強を妨害するような、授業に無関係のことを発したり、指示されたこと以外をしていたりする人がいる学級もあるやに聞いています。学校は、文字通り学ぶところです。授業を受けるところです。どうか、1時間1時間の授業に集中して、個々の学力を高めてほしいと思います。そして、自分の目指す進路を実現してほしいです。真面目に勉強したい人を邪魔するような私語や勝手な言動、行動は厳に慎んでほしいです。

最後に中学校生活の意義についてです。中学校生活は、とても忙しくやることもたくさんありますが、大事なことは、集団生活でルールや約束事を守って暮らすことができる力をつける場でもあります。これだけ人が一緒に生活するのですから、自分の思い通りにならないこともあるはずですが、クラスの中で、友達のことを理解しながら、自分の考えを述べることは学校でしかできない活動です。また、そうしたコミュニケーションの力をつけていくことが、将来、社会に出て行って働くときに大切な力となります。他者の人権を大切にされた適切な言葉遣い、考え方や暮らし方に違いのある人に対しても、敬遠することなく、よりよい人間関係づくりに努力することが大切です。人のいやがる行動や言動をなくすようみんなで努力していきましょう。6月3日の生徒総会で話した「いじめは、どんな理由があろうが許されない行為です。いじめている人だけでなく周りにいて、いじめと気づいていても黙って見過ごしている人もいじめているのと同じです。みんなの力を結集していじめを撲滅していきましょう。」をいつも肝に銘じてほしいです。

今話した3つのことを意識して、山鹿中学校生徒と先生方が一致協働の精神で、新たな伝統をつくるべく後期も頑張っていきたいと思います。

